

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	跡見学園女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	アトミガクエンジヨシダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	マネジメント学部
	担当教職員名・役職	宮崎正浩・マネジメント学部長
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	268
	受入企業等数	124
	受入企業等名	http://www2.mmc.atomi.ac.jp/~f-management/company_list/
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,2.有給インターンシップ,4.他県をまたぐ広域インターンシップ,5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外で実施している就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップにおける就業体験の内容は多種多様である。具体的には、インターンシップ先の業務を理解するための研修や施設見学、各部門の日常業務の補助、イベントの企画・運営、特定のテーマについての調査・研究・提案、受付や電話対応などの接客などがある。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,4.当該インターンシップは、必修科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ」という必修科目を履修する。特定の授業時間は割り当てない。事前に社会人としてのマナーを学ぶ講座の受講、先輩たちの体験談を聞くこと、インターンシップ先の事業概要の事前学習などを実施している。実際のインターンシップは夏休み期間に行う場合がほとんど。インターンシップの事後は概要をまとめて担当教員に報告している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	教員が状況に応じて受入先や学生と連絡をとり、実施状況について確認している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	派遣先の事業内容や、どのような職務態度が求められているかを調べて、具体的な目標を立てることを促している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	業務日誌や先方からの評価コメントを基にして、反省点や学んだ点、今後の学生生活にどのように活かすかについて、報告している。また、インターンシップ後に、全教員と代表学生が記入した『ATOMIアカデミック・インターンシップ総括報告書』を毎年作成し、実施先企業、事業所すべてに送付(フィードバック)している。また、総括内容は、学長・副学長・教務部長・学部長による運営会議にて報告し、情報共有をはかっている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	出勤状況や職務態度等について、担当教員が個別に状況に応じて、受入先や学生と連絡をとり確認をしている。実習先に赴くこともある。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	

	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ事後アンケートを全員に実施し、事前準備で役に立った点、足りなかった点、インターンシップで学んだ点や反省点等を記入している。このデータは、次年度の事前準備等に活用している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している。3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実習8日間、事前・事後訪問で2日間の場合もある。
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	2か所の合計で10日間になるように組み合わせている場合もある。
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	原則として、一か所で10日間を確保することに努めている。ただし、月～金の5日間×2週間が難しい場合は、週末のみで10日間を確保する場合や、2か所以上で10日間を確保する場合もある。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している。6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施計画書は担当教員と受入先で毎年作成している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www2.mmc.atomi.ac.jp/~f-management/
問い合わせ先	大学等名	跡見学園女子大学
	担当部署名	事務局庶務課
	担当者役職名	
	担当者氏名	永吉泰行
	電話番号	048-478-3333
	メールアドレス	d-shomu@atomi.ac.jp